

# まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。  
連絡先 市まちづくり推進室 ☎43・8113



## 福津の絶景スポットを目指して

宮地嶽自然歩道トレッキング



▲福津を一望できる在自山の山頂付近

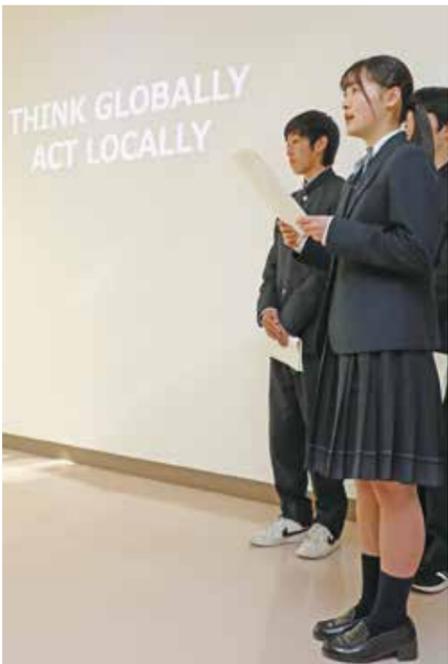
新宮町、古賀市、福津市、宗像市の頭文字をとった「しこふむ」地域は、それぞれの市町の豊かな自然や歴史を生かしたイベントなどを開催しています。3月30日には、市内でトレッキングイベントが行われました。

コースは、宮地嶽神社から、宮地嶽自然歩道、金刀比羅神社などを巡る4時間弱の行程でした。およそ30人の参加者は、ふくつ観光協会の観光ボランティアガイドを先頭に出発。途中、ガイドが神社の歴史などの説明をしながら歩きました。宮地嶽自然歩道は全長2・4kmで、標高181mの宮地岳と標高239m在自山が散策できるコース。途中、狭く急な坂や滑りやすい道などもありましたが、山頂から見た景色に参加者は疲れを忘れていたようでした。

市外からの参加者も多く「次のトレッキングはいつありますか」「他におすすめの山はありますか」などと質問があるほど好評でした。

## 地球規模で考え 地域で行動する

県立光陵高校イギリス研修報告会



▲代表者3人が研修内容を説明しました

県立光陵高校の生徒10人が、昨年8月にイギリスへ研修に行きました。語学だけでなく、環境問題をテーマに掲げ、そこで学んできたことを市長、副市長に報告しました。

中国からの同世代の研修生とも交流し、海外では「察する」ことをしないことや、環境に配慮してトイレトペーパーは二枚重ねのものを使用しないことなど、生徒それぞれの気づきを発表。「外国人に対するイメージが変わった」と話す生徒もいました。

## 地方創生と防災で協力

山口油屋福太郎と九州朝日放送とそれぞれ協定を締結



▲山口油屋福太郎の山口毅会長(左)と原崎市長

市は3月26日に、株式会社山口油屋福太郎と「地方創生に関する包括連携協定」を締結しました。山口油屋福太郎は、明太子などを製造、販売する会社です。今後は、特産品などを販売する店舗の設立や、福津オリジナル商品の開発など、地域経済の活性化と発展に向けて取り組みます。

また、3月27日には九州朝日放送株式会社と「防災パートナーシップに関する協定」を締結。今後は災害発生時の情報提供の体制を強化します。

## 世界遺産に新たな発見か

新原・奴山15号墳

市では、ユネスコ世界遺産の新原・奴山古墳群15号墳の調査を進めています。

今回の調査は、15号墳の正確な大きさや形などを把握し、可能な限り造られたときに近い形で修理するためのもの



▲15号墳(左奥)と19号墳(右手前)の説明を聞く参加者

す。古墳の周りを掘削したところ、周溝と呼ばれる古墳の周囲をめぐる溝を発見しました。15号墳は円形の古墳とさわれていました。しかし、この周溝の向きや、隣にある19号墳との位置関係から、市では

これらが一体の古墳だったと推測しています。3月23日の現地説明会には、およそ60人が参加しました。昨年の説明会にも参加した橋本英二さんは「この1年で調査がどのように進んだのか楽しみに来た。2つの古墳がつながっていたかもしれない」と驚きだつたと話してくれました。

## 笑って競って楽しんで

あんずふえすていばる2019を開催



▲玄界灘に向かって大声で叫ぶ和田義弘さん

あんずの花がまだ3分咲きの3月17日に「あんずふえすていばる2019」をあんずの里運動公園で開催しました。園内は、ステージイベントや飲食ブースで盛り上がり、野球場などでは「FUKUTSU Challenge Athlon」が催されました。大声コンテストでは「みんなありがとう」など、皆さん思い思いの言葉を叫んでいました。

## おいしいふくつを堪能

第3回ふくつスイーツウォーキング



▲エトワールでは店主自らスイーツを配布しました

スイーツを食べながら市内を散策する「おいしいふくつスイーツウォーキング」が3月24日に開催されました。370人の参加者は、宮地嶽神社や津屋崎千軒など約5kmのウォーキングに挑み、10種類のスイーツを堪能。店頭でスイーツを手にとると「おいしいそう。他の商品も見たい」と店内にも足を踏み入れ、商品を買いたい人もいました。